

自然の豊かさ実感



相馬 慧子さん
(ツアー参加者 / 神奈川県)
田村市には何度か来たことがあるのですが、新しい出会いや初めての体験が多くあって、とても楽しかったです。特に自然の豊かさと地元の方の皆さんのフレンドリーさを改めて実感できたツアーでした。



⑤・⑥・⑦…強風のなか、ひまわりの苗やサツマイモの苗を植えた後は、お待ちかねのバーベキュー。すっかり打ち解け合った牧野の皆さんと大いに盛り上がりました。牧野の美しい風景と地域の皆さんの暖かさを心に刻んでくれたことでしょう。



①・②・③・④…初日は昔ながらの道具を使った田植えに挑戦。裸足で田んぼに入るのはみんな初体験。近所のばあちゃんたちも心配そう。

次回も楽しみです



牧野の農を活かしたまちづくりの会
佐久間 広一さん
参加者の皆さんには不便をおかけしたかもしれませんが、私としては2日間、本当に楽しかった一言です。また、自分の生まれ育った牧野や、共に生活する仲間を誇りに思えた2日間でした。次回のツアーも今から楽しみにしています。

田舎暮らしのおすすめ。田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会 モニターツアーを開催

とを願いつつ、再会を約束しました。
今回植えた苗・野菜やひまわりは、8月・10月のモニターツアーの際に収穫・観賞されます。
大越町牧野はどんな地域?
グリーン・ツーリズム事業の今年度の中心舞台、大越町牧野地区。ここは、のどかな田園風景が広がる自然豊かな場所です。
世代間交流や人間関係が希薄になった現在、昔のような自然環境や人間関係を取り戻せないかと、牧野の人々は平成8年に「ひまわり会」を発足。それから約20年、今では毎年、約3万本のひまわりを植えています。31年3月には、牧野地区で磐越自動車道の田村中央スマートインターチェンジ(仮称)の供用が予定されています。牧野の人々は、都心部からのアクセスがさらに向上することを見込み、耕作放棄地等を解消しようと、27年6月に「牧野の農を活かしたまちづくりの会」を発足しました。
地域の課題を自分たちで解消するため、地域住民が力を合わせて全力で取り組んでいます。

今年度第1回目となるモニターツアーは、6月3日から4日までの1泊2日で開催され、田舎暮らしや田舎体験に興味・関心がある関東圏や仙台にお住まいの12人が、大越町牧野地区を訪れました。
昔ながらの道具を使った田植え、サツマイモや枝豆の定植、約3万本のひまわりの植栽、夕食やバーベキューでの交流を通して、どんどん距離が縮まっていく参加者と牧野の皆さん。最初はお互いによそよしかったものの、帰るころには名前前で呼び合うほど打ち解け合いました。参加者にとって田村市が第二の「ふるさと」になるこ

Facebookでいいね!しよう

今回ご紹介した「牧野の農を活かしたまちづくりの会」と「牧野ひまわり会」公式フェイスブックでも、モニターツアーの様子や、今後のイベント等の予定をご覧いただけます。

牧野の皆さんの熱い思いと、会員の方が撮影した質の高い写真の数々に圧倒されます。

田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会の公式フェイスブックとともに、ぜひ「いいね!」をお願いします。(スマートフォンなどで下のQRコードを読み取ることができます。)



牧野の農を活かしたまちづくりの会



牧野ひまわり会



田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会



⑫・⑬…牧野のおかあさんたちの手料理は参加者の心をわづかみに。



⑩・⑨・⑩・⑪…2日目、常葉町で畜産を営む佐久間尚美さん(⑩)の農場を訪れ、かわいい牛たちとふれあいました。佐久間さんが生きものの「いのち」をいただく尊さについて話すと、参加者は熱心に聞き入っていました。



とても良い経験に



花村 はるかさん
(ツアー参加者 / 東京都)
お米、野菜、お花は、今まで「すぐ食べられる状態」「綺麗に満開の状態」でしか楽しんだことがありませんでした。実際に田植え、苗植えをすることで、育てることの苦労や楽しさを知ることができて、人生のなかでとても良い経験になりました。

